

## 兵庫県立龍野北高等学校（福祉）

ソリューションフォーカスの視点に立った「利用者本位の介護」を実現させるため、利用者の生活課題を主体的・協働的に発見し、解決する力を育成する実践研究に取り組んできました。SPH事業で学んだ福祉の知識と技術とここで、「みんなが笑顔で、楽しく、元気になる介護！」を目指しています。

### （担当視学官からのコメント）

基本的な介護技術をベースに、より高度な介護技術（龍北カイゴ）やチームで課題解決する力を身に付けた「利用者本位の介護」を担う人材育成に取り組み、地域と結びついた「笑顔と元気になる介護」が実践されています。



## 福岡県立福岡農業高等学校（農業） ※5年指定

本科と専攻科が連携した5年間の教育プログラムの中で、都市部における農業高校の在り方を探り、都市型農業を担う人材を育成するため、外部機関の協力を得て、以下のような学習を柱に実践研究を行っています。

- (1) 栽培に関する先端技術を活用する能力を身に付けるためのフロンティア学習
- (2) 都市型農業を経営する能力を身に付けるためのマネジメント学習
- (3) 農業及び農業関連産業で必要な技術を身に付けるためのスキルアップ学習

### （担当教科調査官からのコメント）

福岡農業高等学校は5年指定のため、今回は中間報告となりますが、上記の学習プログラムでどう生徒が変容していくのかデータを蓄積してきました。5年間のロードマップを活用した事業展開と専攻科との連携等について、他校でも参考にさせていただきたい。



## 平成28年度

# スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 成果発表会



## ○会場

文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂  
（東京都千代田区霞が関3-2-2）

## ○参加申込方法

都道府県・政令指定都市教育委員会等関係者や学校関係者等を参加対象とさせていただきます。事前申込制となっておりますので、開催案内の出席者登録票に必要事項を御記入の上、平成29年1月13日（金）までにメールにてお申込みください（会場規模の関係上、人数を調整させていただきます）。



（お問合せ先）文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室

〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2

電話 03-5253-4111（内線2904） メール sansin@mext.go.jp

日時：平成29年2月6日（月）10:00～16:00（※受付 9:30～）  
会場：文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂

# 発表校（平成26年度指定校）の紹介

## 宮城県農業高等学校（農業）

「日本最古の農業高校 震災・津波から復活の取組み！地域で活躍する就農者増加に向けて～志・知・技を持った就農者増加へのV字回復～」を研究開発課題として、教職員による農家訪問の実施・スキルアップに始まり、農業科・園芸科・生活科・食品化学科・農業機械科の全学科がそれぞれの特色を生かしつつ先端技術を取り入れた授業や地域連携を意識した授業を実践しています。3年間の取組で見えてきたこと、「技術」や「知識」よりも大切なことは何かについて、報告します。

（担当教科調査官からのコメント）

東日本大震災で校舎や農場等を全て喪失した中での事業展開となりましたが、地域と連携したスキルアップ学習等を通じて生徒は大きく変容し、学校の新たなレガシーとなる取組も多く、その実践と成果等を他校でも参考にさせていただきたい。



## 山形県立酒田光陵高等学校（情報）

上級学校や産業界との連携、ICTを活用した学習環境の構築、地域内での5年一貫教育への取組などを通して、教育内容を高め、先進的な技術や思考力、創造力、情報技術者としての高い志を身に付けた「世界を変える・未来を変えるIT技術者」の育成を目指した取組を行っています。

（担当教科調査官からのコメント）

オンライン会議システムを活用した課題研究の指導、大学側のカリキュラム変更を含む5年一貫教育の実現など、様々な工夫と努力が見られます。それぞれの取組の成果のみではなく、その実現過程にも注目していただきたい。



## 埼玉県立常盤高等学校（看護） ※5年指定

「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」を兼ね備えた「生涯学び続ける看護師」の育成を目指して、5年一貫教育の特徴を生かした様々な取組を行っています。

（担当教科調査官からのコメント）

常盤高等学校は5年指定のため、今回は中間報告となります。成果発表ではe-ラーニングや大学との連携講座、プロジェクト学習等の多様な取組とともに、中間評価についても参考にさせていただきたい。



## 石川県立工業高等学校（工業）

新たな技術開拓へ主体的に挑戦する専門的職業人を育成するために、輪講形式で学び合いを実現する取組等の中で、工業技術の課題について論理的に思考する機会を設けるなど、高等教育機関と連携した探究活動を実践する教育プログラムを開発しました。生徒は、これまで以上に先端科学技術に関心を持ち、予習に基づき考えを出し合い、深く学ぶようになりました。

（担当教科調査官からのコメント）

身近にある現象にも、わからないことは数多くあります。その中から工業に関する課題を見出し、それを解決するための探究方法を、最先端の科学技術について研究している大学院生から学ぶこと等を通して、生徒はものづくりに関する技術や技能をより向上させることができました。3年間の研究成果を生かして、自立的な研究の継続・発展が期待できる取組です。



スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 指定校においては、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組と実践研究が行われています。指定校の優れた教育実践とその成果を普及することで、専門高校全体の一層の活性化を目指しています。

## 岐阜県立岐阜商業高等学校（商業）

～Be the CEO Project（「生徒全員が社長」プロジェクト）～を掲げ、学校OBが発起人として設立した「株式会社GIFUSHO」を生徒たちの実践的・体験的な学習活動の場とし、会社経営に必要な実践力、創造力、起業家精神を身に付けさせるとともに、グローバルに活躍するビジネスリーダーを育成しています。

（担当教科調査官からのコメント）

地域の方々が設立した株式会社の経営を通して、本物のビジネスの厳しさと楽しさを体験させています。実践的な学びと税理士試験などの高度な資格取得を目指した学びを両輪として取り組んでいる点に注目していただきたい。



## 静岡県立焼津水産高等学校（水産）

国際感覚を身に付け、水産業を幅広い視点で捉えることができる専門的職業人を育成するため、「海外インターンシップ」や「品質管理研修」など、各分野を横断的に捉えた全科共通プログラムに加え、「駿河湾におけるサガラムの定植を目指した研究」など、学科ごとに専門性を高めるプログラムを実践しています。

（担当教科調査官からのコメント）

グローバルな感覚を養うとともに、最先端の技術に触れる機会を教育プログラムに取り入れ実践しています。次代の水産業を担う人材を育成する上で、多くの水産教育関係者の参考になる取組です。



## 愛知県立豊田工業高等学校（工業）

地域の企業や大学等と連携し、将来の日本のものづくり産業の柱となる次世代自動車産業や航空宇宙産業の専門的の中核人材を育成する教育研究に取り組み、専門技術を活用した課題解決能力やキャリアプランニング能力を育成するとともに、豊かな創造性とグローバルな視点も身に付けさせることができました。

（担当教科調査官からのコメント）

学校では扱えない様々な工作機械等を使って実践的な技術力を身に付ける等、学校と産業界との関連性をより明確に理解させる学びを通して、生徒はものづくりに関する技術や技能をより向上させることができました。3年間の研究成果を生かして、今後も地域と一体となった更なる工業教育の振興が期待できます。



## 兵庫県立西脇高等学校（家庭）

「cool Japan cool Bansyuoriー播州織再発見と西脇産ブランド発信ー」を研究開発課題として、播州織の魅力と可能性を広げるため、地域と連携した取組を進めるとともに生徒考案の四つのオリジナルブランド「NSHブランド」と西脇市の市花をイメージした布地「しばざくら」を開発し、世界へ向けて発信しています。

（担当教科調査官からのコメント）

地場産業である「播州織」を深化、発展させ、新たな素材づくりやブランドの開発・発信を通して、柔軟な発想力やものづくりに関する実践力、プロデュース能力を育成し、地域の活性化を図っている先進的な実践研究です。

